

科目番号	62	科目名	生命科学概論(M)		
英 文 科 目 名	Introduction to Life Sciences (M)				
大学・短期大学名	立命館 大学				
連 絡 先	〒525-8577 滋賀県草津市野路東1丁目1-1				
	TEL :	077-561-4972	FAX :	077-561-3935	
担 当 教 員	加藤 稔 ほか7名 (生命科 学部 教授)				
教 室 名	コラーニングハウスI 101	会場	立命館大学BKC(びわこ・くさつ)キャンパス		
授 業 期 間	2021 年 4 月 12 日 (月) ~ 2021 年 7 月 19 日 (月) <毎週 月曜日> 5 時限・講時 16 : 20 ~ 17 : 50 ※ただし、本学の学年暦により第8回目の授業は6/5(土)となる。				
超過時の選考方法	出願票に記載の志望理由による選考口				
成績評価方法	定 期 試 験 (筆 記)				%
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)				%
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)	100			%
	そ の 他 ()				%
別 途 負 担 費 用	(なし) あり () 円				
その他特記事項					
<講義概要・到達目標>					
【授業の概要と方法】 21世紀は『生命科学』の世紀といわれる。これは、20世紀に急速に蓄積した“生物に対する知識”を基盤にして、21世紀には人類の福祉に役立つ技術が開発され、実用化されるであろうことへの期待の表われである。この分野は人間を含む生物(生命体)を研究・実験の対象にするものであり、研究者ならびに技術者には高い倫理観が求められる。本講義は、生命科学部での導入科目として位置づけ、生命科学部の各学科における学問の形態や技術動向等について概観するとともに、研究者・技術者の役割と責任についても講義する。なお、幅広い話題を提供するために、オムニバス形式の講義とする。					
【到達目標】 生命科学研究の現場にいる人たちの研究動機およびに社会から求められる規範に触れることにより、どのように問題を理解し対処すべきか、判断するための基盤を獲得する。					
【成績評価方法】 ・科目全体としての検証テストは行わない ・レポート課題を適宜提示する ・小テストを適宜実施する ・質疑応答等、講義への積極的な参加を評価に加味する					

＜授業スケジュール＞

回	月日	テーマ・キーワード
1	4月12日	加藤稔:「授業の概要と導入」
2	4月19日	北村健太郎:「生命科学と社会」1
3	4月26日	北村健太郎:「生命科学と社会」2
4	5月10日	高木一好:「応用化学関連テーマ」1
5	5月17日	高木一好:「応用化学関連テーマ」2
6	5月24日	川村晃久:「生命医科学関連テーマ」1
7	5月31日	川村晃久:「生命医科学関連テーマ」2
8	6月5日	久保幹:「生物工学関連テーマ」1
9	6月7日	久保幹:「生物工学関連テーマ」2
10	6月14日	高橋卓也:「生命情報学関連テーマ」1
11	6月21日	高橋卓也:「生命情報学関連テーマ」2
12	6月28日	宮崎栄二:「特許」
13	7月5日	中川浩行:「工学倫理」1
14	7月12日	中川浩行:「工学倫理」2
15	7月19日	加藤稔:「授業の統括」

＜教科書・参考書＞

【教科書】

特に定めない。

【参考書】

＜1回目講義用＞

『大学生になるきみへ: 知的空間入門』中山茂著 (岩波書店 978-4-0050-0452-2)

＜2-3回目講義用＞

『障害学への招待: 社会、文化、ディスアビリティ』石川准, 長瀬修編著 (明石書店 978-4-7503-1138-8)

『身体と境界の人類学』浮ヶ谷幸代著 (春風社 978-4-8611-0244-8)

『出生前診断を受ける受けない誰が決めるの? —— 遺伝相談の歴史に学ぶ』山中美智子, 玉井真理子, 坂井律子著 (生活書院 978-4-8650-0074-0)

＜6-7回講義用＞

『はじめての研究生活マニュアル』西澤幹雄著 (化学同人 978-4-7598-1597-9)

＜10-11回目講義用＞

『技術者による実践的工学倫理: 先人の知恵と戦いから学ぶ』中村収三, 近畿化学協会工学倫理研究会共編著 (化学同人 978-4-7598-1557-3)

【参考になるwwwページ】

第2回および第3回の講義を受けるにあたり、以下の論文を事前に読んでおくこと。

＜第2回目講義＞

北村健太郎 2007「血友病患者から見た「神聖な義務」問題」『コア・エシックス』3:105-120

＜第3回目講義＞

北村健太郎 2006「血液利用の制度と技術——戦後日本の血友病患者と血液凝固因子製剤」『コア・エシックス』2:75-87

＜第2回-3回目講義＞

生命科学概論/生命科学と倫理

<http://www.livingroom.ne.jp/t/lse.htm>

その他の回は特になし